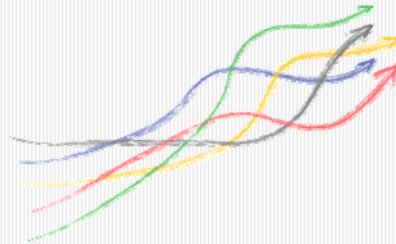


2009年9月期第2四半期 決算説明会

2009年5月26日
代表取締役社長 廣谷 彰彦



本資料および本説明会の説明には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

プレゼンテーション・アウトライン

I : ACKグループの自己紹介

- ACKグループとは
- ACKグループのミッション

II : ACKグループの経営戦略

- 3軸体制の構築へ

III : 2009年9月期業績ハイライト

- 第2四半期連結累計期間業績ハイライト
- 通期の見通し
- 業績の推移

IV : 質疑応答

V : トピック

I : ACKグループの自己紹介



ACKグループとは、

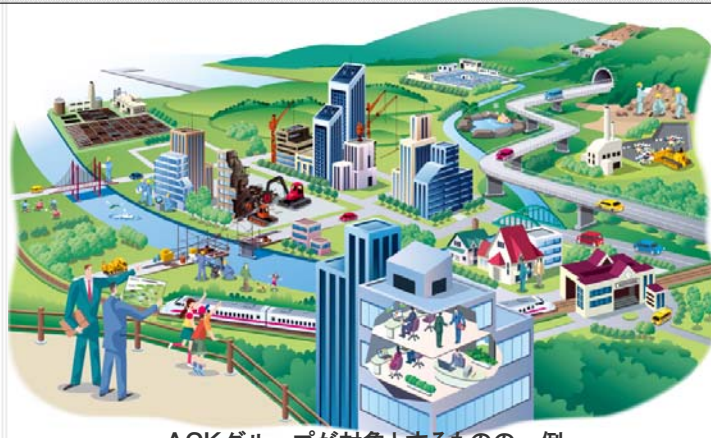
私たちACKグループは、**世界の人々の**
困ったことを解決し、**要望を実現するために考えて、**
アイデア・技術を創造し、**提供することを生業とします。**



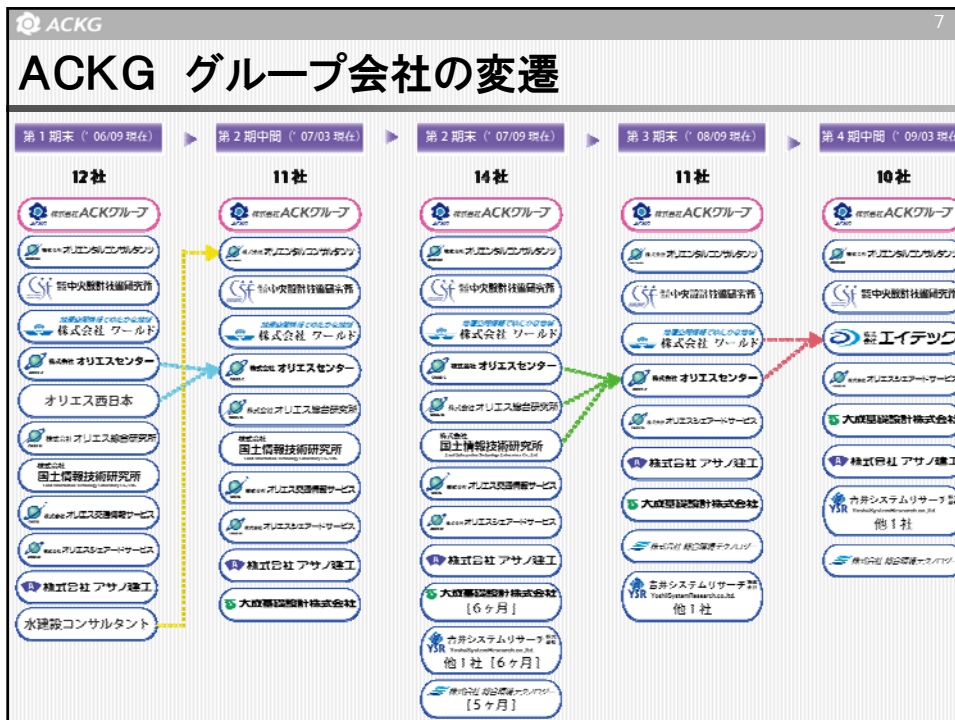
【ロゴマークの意味】
「知」を核とし、
決まった型にはまらず、
時代の変化に応じて、
自由に業容を変えながら
仲間を募り広がっていく。

ACKグループとは、

世界の人々の**生活や産業を支えるあらゆるものを対象に、**
インフラ・マネジメントサービス事業や環境マネジメント事業など
において、**アイデア・技術**を提供します



ACKグループが対象とするものの一例



ACKG 8

事業会社の紹介

事業会社	業務内容
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ	デザインソリューション、国土基盤、都市地域、交通、環境、防災、グローバルコンサルティングなど
大成基礎設計株式会社	地質・土質調査、環境調査・浄化、構造物調査など
株式会社 アサノ建工	さく井工事、地質・土質調査、解体工事、温泉工事など
国中央設計技術研究所	上下水道、廃棄物、環境、情報に関する調査・計画・設計・維持・運営など
株式会社 エイテック	建設に関する調査・設計・監理、CM/PM、交通関連業務、測量、写真測量、GIS、補償コンサルタントなど
吉井システムリサーチ 株式会社 Yoshi System Research Co., Ltd.	システム開発、パッケージソフトウェア販売、ITサービスなど
株式会社 総合環境テクノロジー	循環型社会の形成に向けた廃棄物処理、リサイクル、エネルギーなどの環境ソリューションの提供など
株式会社 オリエスシェアードサービス	間接部門業務支援、ITサポート、人材マネジメント、人材派遣など

インフラ・マネジメントサービス事業

世界の人々の生活や産業の基盤となる、
道路、鉄道、空港、港湾、上下水道、廃棄物処分場などの整備・
維持管理や災害の予防・対策などに関する事業



ACKグループが対象とするものの一例

インフラ・マネジメントサービス事業の例(橋梁)

物流・人流を活発にする、
騒音の少ない、
地震が来ても壊れない、
長持ちする、
景観に配慮した、
少ない費用で建設や
維持管理できる、
橋梁を整備してほしい



提案

様々なニーズを踏まえた
橋梁のデザイン・材料・
工法・維持管理手法などの
アイデア・技術を提案



インフラ・マネジメントサービス事業の例(防災)

災害を防ぎたい、
災害時に速やかに避難し
たい、
災害後の復旧をすぐにし
て欲しい



提案

災害が発生しない斜面、
災害時の速やかな避難、
災害後の速やかな復興
を実現するためのアイデア・
技術を提供



▲地すべり対策検討



▲ハザードマップ(災害時危険箇所や地図に示したもの)作成



▲災害復旧

環境マネジメント事業

人と自然が共存できるように、
騒音・振動・大気質・水質・土壌・アスベスト対策・バイオマス利用
や動物・植物の保全・再生を推進する事業



ACKグループが対象とするものの一例

ACKG 13

環境マネジメント事業の例(土壌汚染対策)

周りの土地が汚染されていないか不安、汚染土壌を除去してほしい、汚染土壌を浄化してほしい、汚染のリスクについて説明してほしい

提案

土壌調査、土壌汚染対策立案、汚染の影響評価に関するアイデア・技術を提案

▲土壌調査

▲土壌の除去の提案

▲土壌浄化の提案

▲汚染リスクの講習会

ACKG 14

役務・お金の流れの例

・官公庁
・JICA
・商社・不動産
・ゼネコン
・メーカー
・プラント など

発注者

お金

ACKG

【役務】

- ・耐久性・防災・環境・地域特性に配慮した社会資本整備のための、**アイデア・技術**
- ・災害を防ぐ、被害を最小限に止めるための**アイデア・技術**
- ・自然を守る、リサイクルを推進、地球温暖化を防ぐための**アイデア・技術**

建設会社

施工

お金

ACKグループのミッション



顧客価値の追求を通じ
『世界の人々の豊かな
暮らしと夢の創造』を目指し、
今の業容にとらわれず
サービス領域無限大へ
チャレンジします！



持続可能なサービスを提供
するには、社会情勢変化に
対応できる「安定したゆるぎ
ない経営」が必要。

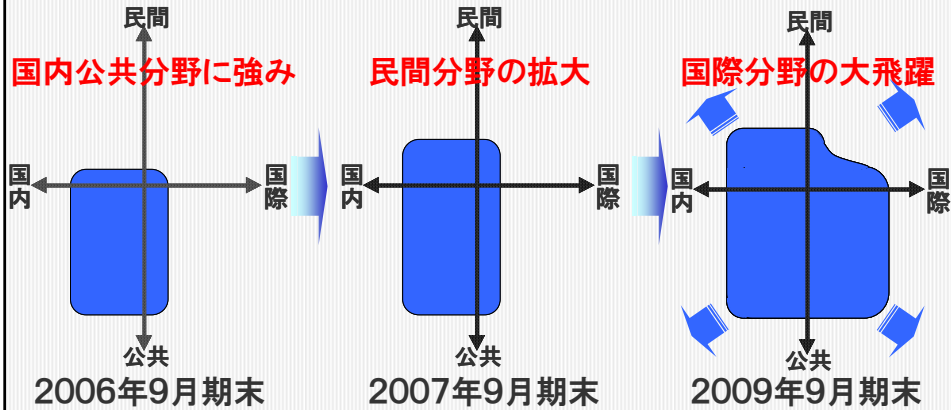
Ⅱ：ACKグループの経営戦略

—安定したゆるぎない経営のために—



ターゲット顧客拡大の方向性

- ◇2007年9月期までに、大成基礎設計、アサノ建工が参画
⇒民間分野の拡大
- ◇2008年8月オリエンタルコンサルタンツGC事業本部を設立
⇒国際分野の大飛躍



国内公共/民間/国際分野の3軸体制の構築へ

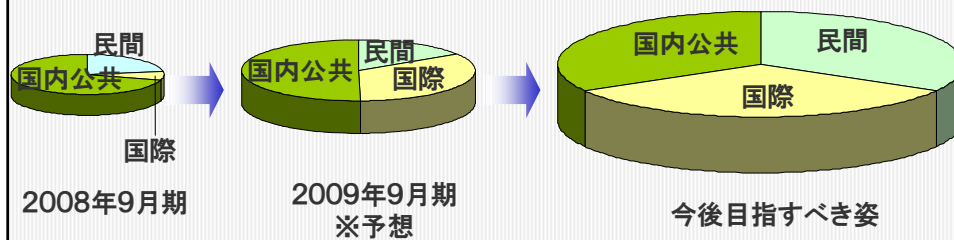
【3軸体制のメリット】

- ◇各軸が業容の変化に迅速に対応
- ◇社会情勢に大きな影響を受けにくい
- ◇安定したゆるぎないグループ会社経営が可能

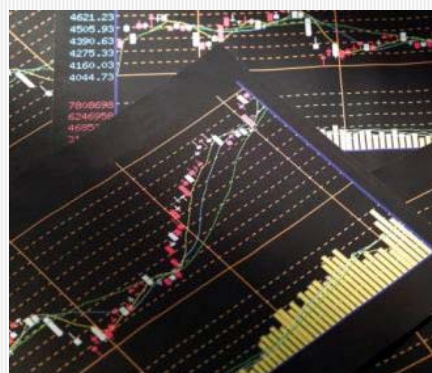


3軸の売上高割合

- ◇2009年9月期に「国内公共」に対する「民間+国際」の売上高割合が1:1に。
- ◇今後は、各軸が拡大しながら、「国内公共」:「民間」:「国際」=1:1:1を目指す。
- ⇒安定したゆるぎない経営が可能に

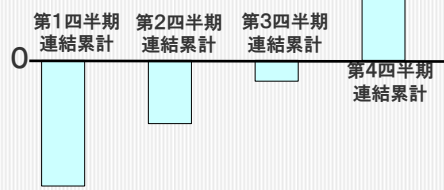
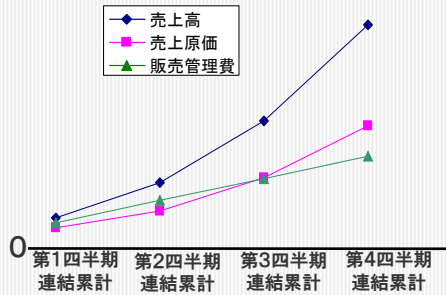


Ⅲ:2009年9月期業績ハイライト



業績の季節変動性について

- ◇納期が3月以降(売上が第2四半期以降)に集中
- ◇販売管理費は、年間平均的に発生
- ◇第3四半期までは、営業損失を計上する傾向



売上高・売上原価・販売管理費累計のイメージ

営業損益累計のイメージ

2009年9月期第2四半期業績ハイライト(売上高、受注高)

- ◇事業譲受に伴い売上高増(計画値をほぼ達成)
- ◇受注高はほぼ横ばい
 - ・民間設備投資減の影響
 - ・国際分野(オリエンタルコンサルタンツGC事業本部)の受注は下期で大きく伸びる見込み

(単位:百万円)

	2008/09期 中間	2009/09期 第2四半期	増減 対前期比	計画値
売上高	10,011	12,400	+2,389 (+23.9%)	12,500
受注高	11,850	11,665	▲184 (▲1.6%)	—

2009年9月期第2四半期 業績ハイライト(損益)

- ◇計画値をほぼ達成
- ◇営業損失は、販売管理費の縮減により改善
- ◇経常損失は、事業譲受に伴う支払利息増で増加
- ◇純損失は、投資有価証券評価損により増加

(単位:百万円)

	2008/09期 中間	2009/09期 第2四半期	増減 対前期比	計画値
営業損失	▲676	▲651	+25	▲830
経常損失	▲632	▲700	▲68	▲860
四半期(中間) 純損失	▲446	▲502	▲55	▲500

2009年9月期第2四半期 業績ハイライト(貸借対照表)

- 海外コンサルタント事業譲受に伴い資産・負債が増加
- ◇売掛金の増加、のれんの発生により資産が増加
- ◇短期借入金、未成業務受入金、長期借入金、退職給付引当金の増加により負債が増加

(単位:百万円)	2008/09期 中間	2009/09期 第2四半期	増減額
資産合計	18,754	24,592	5,838 (+31.1%)
負債合計	13,053	18,973	5,920 (+45.3%)
純資産合計	5,700	5,618	▲82 (▲1.4%)
負債・純資産 合計	18,754	24,592	5,838 (+31.1%)

2009年9月期の業績予想

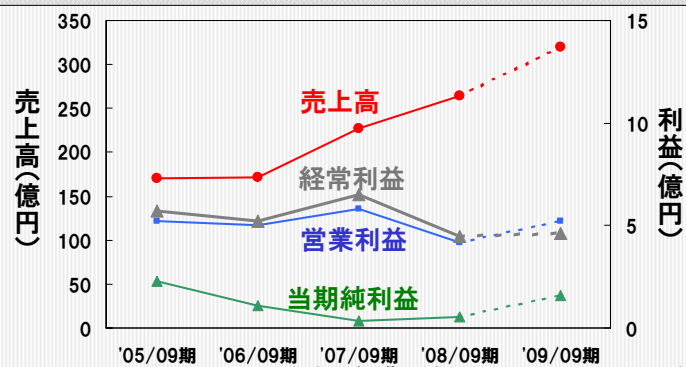
- ◇業績は、計画通り推移する見込み
- ◇事業譲受により増収増益

(単位:百万円)

	2008/09期通期	2009/09期通期 (予想)	増減 対前期比	計画値
売上高	26,380	32,000	+21%	32,000
営業利益	418	520	+24%	520
経常利益	445	460	+3%	460
当期純利益	57	160	+180%	160

通期業績の推移

- ◇売上高は、堅調に拡大
- ◇利益は、横ばい⇒業績不振子会社の損失、M&Aに伴うのれん償却など
- ◇今後、利益率の向上を目指し強固な経営体制へ
⇒生産原価・経費の縮減策をグループ各社で策定、営業の効率化、拠点の集約化、事務所の統廃合、事業統合などによる生産効率の向上



注: '05/09期はオリエンタルコンサルタンツ(連結)の実績

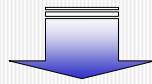
新しい中長期経営計画策定へ

【ACKG ONE(現在の中長期経営計画)の振り返り】

ほぼ計画通りに推進できた

◇積極果敢なグループ会社経営により、「民間市場」「国際市場」への事業領域拡大に成功

◇2011年の売上高目標300億円を2009年9月期に達成見込



今後、経営力・グローバル力・マーケティング力・開発投資力の強化、利益体質の強化


⇒2009年10月に、新しい「中長期経営計画」を発表予定

IV: 質疑応答



V:トピック



 株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ** -災害時の帰宅経路を調査-
横浜駅周辺地区災害時帰宅経路調査の報告会開催

- ◇横浜都市再生推進協議会は、2008年12月15日に「横浜駅周辺地区災害時帰宅経路調査報告会」を開催
- ◇2008年9月24日に実施、横浜駅周辺を対象に8ルートに分かれて災害時の帰宅経路の調査を実施
- ◇オリエンタルコンサルタンツは、横浜駅周辺地区災害時帰宅経路調査事業へ協賛企業として参加、同報告会で感謝状を授与



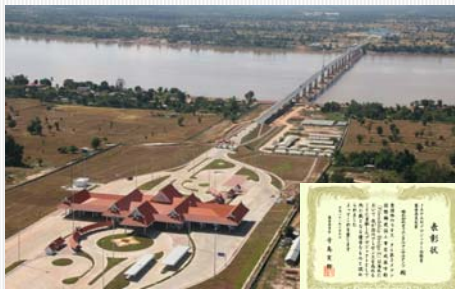
▲災害時の帰宅経路の調査風景



▲報告会での感謝状授与の様子

株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ** JAPANプロジェクト国際賞を受賞
-海外に対してわが国の技術力をアピール-

- ◇ オリエンタルコンサルタンツが設計・工事監理を担当したラオス・タイ第2メコン国際橋(完成後呼称「Friendship Bridge II」)建設工事が、国土交通省JAPANプロジェクト国際賞審査委員長賞を受賞
- ◇ 同賞は、わが国の技術を海外にアピールする目的で今年度設立



▲ラオス・タイ第2メコン国際橋全景

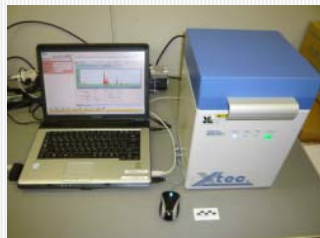


▲夕日に映えるラオス・タイ第2メコン国際橋

株式会社 **大成基礎設計株式会社**

誰でも簡単・安全・迅速に現場で土壌汚染調査-環境省から高評価-

- ◇ 改正土壌汚染対策法が2009年4月17日に成立
- ◇ 土壌汚染調査の機会が増加する見込み
- ◇ 大成基礎設計は、現場で簡単・安全・迅速な調査手法を開発⇒環境省から選定・評価
- ◇ 2007年度は「水銀フリーボルタンメトリー分析計」、2008年度は「小型蛍光X線分析装置」を開発



▲小型蛍光X線分析装置



▲分析の様子

大成基礎設計株式会社インドネシアへの社会貢献活動

- ◇2004年スマトラ沖地震以降毎年実施
- ◇今回で5回目
- ◇インドネシアのパダン、ブキッティングなどに2名を派遣
- ◇大成基礎設計の地盤調査方法などの技術を指導
- ◇2009年2月22日～3月1日まで8日間滞在



▲支援活動の様子

中央設計技術研究所 石川県ワークライフバランス企業知事表彰受賞

- ◇中央設計技術研究所は、石川県ワークライフバランス企業知事表彰を受賞
- ◇育児のための勤務時間短縮などを実施した功績が評価



▲表彰式の様子

ACKG 35

吉井システムリサーチ株式会社 YSR YoshiSystemResearch.co.,Ltd. 災害時の安否確認システムの開発
-ACKグループの事業継続計画(BCP)を促進-

- ◇企業として災害発生時に最優先されるのは、役職員とそのご家族の安否確認
- ◇ACKグループBCPの一環として、グループ社員等の安否確認・集計を自動で行うシステムを開発
- ◇各個人へ携帯メールを一斉配信、その返信により安否確認・集計

▲携帯電話への安否確認メール

ACKG 36

株式会社 エイテック OC-i(ナンバープレート自動読取装置)を用いた環境調査
-環境省から受注、国内公共分野の強化-

- ◇エイテック保有のOC-iは、ナンバープレート自動読取装置⇒交通流調査や駐車場管理に使用
- ◇2009年2月に環境省からOC-iを用いた業務を受注
- ◇大気質改善の必要な地域の自動車を観測⇒
自動車NOx・PM法※の車種規制の適合状況を整理

▲OC-iシステム観測装置

▲歩道橋への設置状況

※自動車NOx・PM法:大都市圏でより窒素酸化物(NOx)や粒子状物質(PM)の排出が小さい自動車を使用するように車種規制を行う法律

株式会社 オリエスシェアードサービス

政府開発援助(ODA)評価者のための評価ワークショップの開催

- ◇オリエスシェアードサービスは、(財)国際開発高等教育機構(FASID)が主催するODA評価の研修を受注(2009年3月)
- ◇オリエンタルコンサルタンツGC事業本部の協力の下、諸途上国の気質について話題提供



▲ワークショップの様子

お問い合わせ先



JASDAQ
 銘柄略称: ACKG
 証券コード: 2498

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)

問合せ 統括管理本部 長尾 千歳

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

本日は弊社決算説明会にご参加いただきましてありがとうございました